



学校通信

我が輩はトラフズク

令和7年6月23日 No.3

弘前市立第三中学校 (担当: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

はじまりの光景

校長 小笠原 恭史

“わからない”。それは真剣に勉強と向き合った「はじまり」です。決意して、初めて真剣に勉強をしてみると、すぐに“わからない”が押し寄せてきます。やればわかるものだと思って勉強し始めて、すぐにわからないのですから“やっぱり無理だ”と思ってしまいます。しかし、それは違います。真剣に勉強と向き合っていないときは、“わからない”ことすら分かっていなかったのです。勉強は、やるとわからなくて、それをわかるようにしていく繰り返しです。

“わからない”は、勉強し始めた「はじまりの光景」です。

“悲しい”。それはやさしく（強く）なる「はじまり」にもあります。馬鹿にし合ったり、嫌われることに怯えてばかりの日常が嫌になって、やさしい心で生きてみます。すると、飛び交う無責任な言葉に悲しくなったり、人の失敗を笑っている中にいて笑えなくなったりします。弱くなったのかと思ってしまいますが、それは違います。無責任な言葉や嘲笑が人を傷つけることに悲しみ、人としてやさしく、誰かを守るために強くなっていくのですから。

“悲しみ”は、やさしく（強く）なる「はじまりの光景」にもあります。

憧れていたところに初めて辿り着いたとき、そこに達成感がなかったり、かえって大変さだけがあたりします。たとえば、上級生や選手、キャプテンなどになったとき、自分にだけ、これまで以上の大変さが求められていると感じてしまうことがあります。しかし、それは違います。先輩たちは大変さを笑顔でこなしていたから素敵で、だから憧れていたのです。

憧れに辿り着き、担う大変さは周りからの期待であり、それはやりがいです。

「はじまりの光景」に立つ人へ、思い描く未来は、そこから始まります。

健闘！地区中体連 夏季大会



6月7日（土）～9日（月）、第1回中南地区中体連夏季大会が行われました。大会前日には、本校体育館で生徒会主催による中体連激励会が行われ、生徒会長から「今まで培ってきた努力を発揮し、クラブチームとの対戦も、互いに良きライバルとして最善を尽くしましょう。」と激励の言葉がありました。そして応援団からは力強いエールが贈られました。

選手達からは、「フェアプレーで戦います。」「練習し、学んだことをすべて出し切ります。」「仲間を信じて最後まで粘り強く戦います。」など、大会に臨む強い決意とこれまで関わってくれた方々への感謝の言葉が述べられました。

校長からは、「ピンチは、負けや失敗の前兆ではなく、本当に勝ちたいのか・成功したいのかを試される時です。チームメイトや応援する仲間や先生、家族などの声援に応えるべく挑み続けてください。」とお話がありました。

これまで、全力で応援してくださった保護者の皆様、コーチ、地域関係者の方々に、改めてお礼申し上げます。どの競技・種目においても、選手・応援した生徒にとって、大きな感動とたくさんの学びが得られた「第1回中南地区中体連夏季大会」となりました。

熱戦の足跡

*個人戦など、すべての記録を掲載していないことにつきましてご了承ください。

□野球

1回戦：対 弘前ネクサス 勝ち
2回戦：対 弘前南BBC 惜敗

□サッカー

予選リーグ
対 平賀西中 勝ち
対 グローフィールド 惜敗

□バスケットボール男子

1回戦：対 平賀西中 惜敗

□バスケットボール女子

1回戦：対 第一中 惜敗

□ソフトテニス男子

団体戦：予選リーグ
対：黒石中 惜敗
対：第二中 惜敗

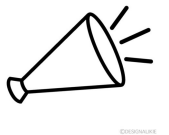
□ソフトテニス女子

団体戦：予選リーグ
対：第五中 惜敗
対：第四中 惜敗

個人戦：代表決定戦
青野・山崎ペア
＜県大会出場＞

□バレーボール男子

予選リーグ
対 尾上中 惜敗
対 中郷中 勝ち



決勝トーナメント

準決勝：対 第四中 勝ち
決勝：対 尾上中 惜敗
＜準優勝：県大会出場＞

□バレーボール女子

予選トーナメント
1回戦：対 相馬中 惜敗
復活トーナメント
1回戦：対 第二中 惜敗

□陸上競技男子

共通男子棒高跳び
齋藤：2位＜県大会出場＞
原田：3位＜県大会出場＞

2、3年男子1500m
山崎：8位

共通男子800m
相馬：8位

□剣道男子
団体戦：予選リーグ
対 第五中 惜敗
対 第四中 勝ち
対 石川中 勝ち

決勝トーナメント
準決勝：対 護国館 勝ち
決勝：対 第五中 勝ち
＜優勝：県大会出場＞

個人戦：県大会出場決定戦
瀬川 勝ち＜県大会出場＞

□剣道女子
個人戦：県大会出場決定戦
葛西 勝ち＜県大会出場＞

□水泳競技
個人：寺島
100m平泳ぎ 3位＜県大会出場＞
100m背泳ぎ 2位＜県大会出場＞

□卓球男子
団体戦：予選リーグ
対：平賀西中 惜敗
対：藤崎中 惜敗
対：明徳中 勝ち

□卓球女子
個人戦
高松 ： 1位＜県大会出場＞
齊藤 ： 9位＜県大会出場＞
相馬 ： 9位＜県大会出場＞
平山 ： 9位＜県大会出場＞

団体戦：予選リーグ
対 第二中 勝ち
対 船沢中 勝ち
対 岩木クラブ 惜敗

決勝トーナメント
1回戦：対 第四中 勝ち
準決勝：対 弘前南中 勝ち
決勝：対 岩木クラブ 惜敗
＜準優勝：県大会出場＞

『全校からの応援メッセージ』



演劇部合同発表会

6月15日（日）、第28回弘前市中学校合同演劇発表会が岩木文化センターで行われました。本校からは、演劇部員16人が参加しました。

部員たちは、日頃の練習の成果を発揮し、上演作品「動物園には獣がない」を堂々とした演技で発表しました。発表後は、会場には大きな拍手が鳴り響いていました。また、鑑賞していた他校の生徒から、たくさんの感想が述べられました。

会場は、顧問の先生方、そして部活動アシスタントの藤島さんをはじめ、ご家族からの成功を願う思いにつつまれていました。また、舞台からは上演作品のメッセージと共に、演劇部が作り上げてきたものが伝わってきました。部員同士の信頼関係です。互いの演技を信頼し、互いにいつでも助け合うという絆です。

部活動の地域移行などが進む昨今、改めて、“役を演じることを通して、それぞれの考えや思いなどを表現できる舞台（機会）の大切さ”を強く感じました。演劇部をはじめ文化部の活動、「文化」の継承について考えさせられる機会にもなりました。



三中学区の子ども像(15歳の姿) 地域を思い、未来に向かって主体的に学び、心身ともにたくましい子ども

保育体験学習に先立って

今年度の「3学年：ふるさと学習」では、保育体験学習を実施します。「乳幼児とのふれ合いや保育士の手伝い等の体験的な活動をととして、自分が家族や様々な人たちにの関わりの中で育ってきたことを体感し、これまでの自分・今の自分・これからの自分を見つめる機会として、自尊感情・自己肯定感を高める」ことを目的として、6月26日（木）、学区周辺15カ所の保育園・幼稚園のご協力を得て行います。

それに先立って、6月13日（金）、みどり保育園園長：相馬玲子先生を講師にお招きし、講話をいただきました。相馬先生からは、「命のリレー」を演題に「言葉は人を幸せにすることや勇気を与えることに使ってほしい。」「子どもを褒める言葉が信頼関係を築くツールになる。」「命は誰からの支えがあってつながっている。たくさんの命に出会い、かけがえないものを感じてほしい。」などが話されました。



生徒からは、「命や心の大切さについて考えることができた。体験学習では園児の皆さんと一緒に笑顔になれるような活動をしたい。」「子どもたちは、周りの影響を受けやすいので、お手本のような存在で保育体験に臨みたい。」「日々見守ってくれている先生方や家族のありがたみを知った。全ての人が誰かの大切な人なので、人と接する時の態度や言動に気をつけたい。」などの感想がありました。命の尊さ、それを支える人の存在などについて考える貴重な機会となりました。

7月の予定



1日（火）短縮①～⑥
2日（水）平常①～⑤、3年実力テスト
⑤：1年少年犯罪防止教室
3日（木）短縮①～⑥、3年英検I B A
4日（金）短縮①～⑥
5日（土）第67回吹奏楽コンクール
弘前地区大会～6日（日）
7日（月）短縮①～⑥
8日（火）短縮①～⑥、全校朝会
9日（水）平常①～⑤
⑤：SOSの出し方教室
職員会議
10日（木）平常①～⑥、学校運営協議会
11日（金）平常①～⑥
14日（月）短縮①～⑥、生徒会委員会
15日（火）平常①～⑥、計画訪問
16日（水）短縮①～⑤、⑥学期末大清掃
17日（木）平常①～⑥
学校運営協議会合同会議
18日（金）平常①②、③終業式、
④学活 ※給食あり
13:30下校

19日（土）第76回県中体連夏季大会準備
20日（日）第76回県中体連夏季大会1日目
21日（月）海の日
第76回県中体連夏季大会2日目
22日（火）第76回県中体連夏季大会
予備日、水泳競技
3年学習会①（授業日）
三者面談①
夏季休業～8/24
23日（水）3年学習会②（授業日）
三者面談②
24日（木）3年学習会③（授業日）
三者面談③
25日（金）3年学習会④（授業日）
三者面談④
26日（土）第76回県吹奏楽コンクール
～27日（日）
28日（月）3年学習会⑤（授業日）
三者面談⑤

*変更になる場合もあります。

○思いやりの心をもち、共に生きる ○すすんで学び、あきらめない ○心と体をきたえ、笑顔を広げる